

持続可能な観光・旅行を推進する  
観光分野毎のビジネス基準の活用検討について

(1)「持続可能な観光」のビジネス基準の活用・取組について

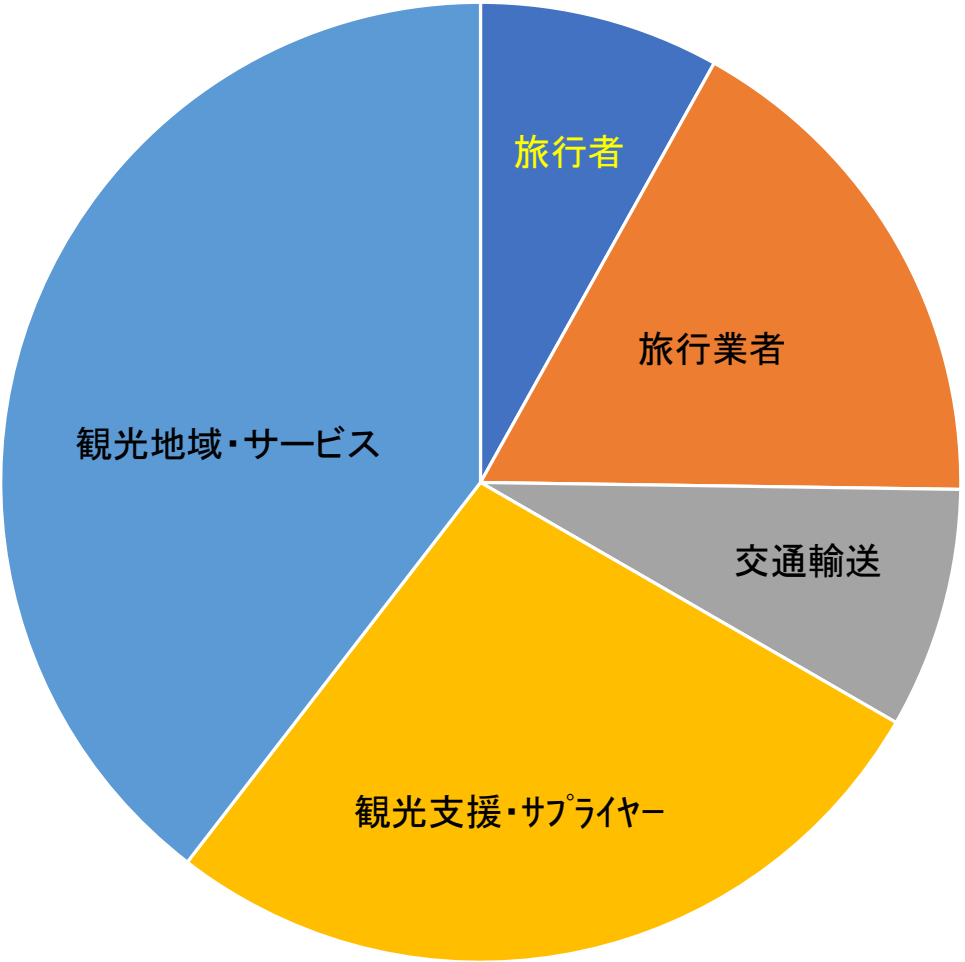
UN/CEFACT観光部会資料  
2022年1月20日(木) 14:00-16:00

# 2022年1月20日(火) UN/CEFACT 観光部会 STプロジェクトのアジェンダ

- (1) STプロジェクトは持続的観光のビジネス基準をSDGSから検討し、一定の取組方の形式をまとめた。今後は観光事業分野を含めた関係者等との調査により、SDGsの取組の現状と実施課題などを把握して持続可能な観光のビジネス基準に取組む手法及び現実的な利用の可能性を確認・評価する必要がある。  
可能な限り観光事業分野及びこの分野の専門家等と連携を図りながら検討を実施したい。
- (2) また前記の観光関連事業者と持続可能な観光への取組に向け、SDGSにどのように取組み、SDGs達成の可能性を精査するため、観光に関するSTビジネス基準を具体的展開する方向を定めてプロジェクトとして取組んで行く必要があると考えている。
- (3) 次回2月の観光部会は外部会議室での開催を予定しています。(2022.2.17予定)

以上

### 4-6 観光関連分野毎のSDGs達成のST推奨項目数の比率(参考)



観光・旅行アクティビティ	STビジネス基準件数
旅行者	17
旅行事業者	36
交通輸送	17
観光支援・サプライヤー	57
観光地域・サービス	83

STビジネス基準件数:210件  
 (JTREC STプロJRプロジェクト調べ)

■旅行者 ■旅行事業者 ■交通輸送 ■観光支援・サプライヤー ■観光地域・サービス

## 4-7(1). 持続的観光のビジネス基準達成度の評価・改善・公表について

2015.9.25 第70回国連総会で採択された。  
持続可能な開発のための2030 アジェンダ  
「我々の世界を変革する」の観光・旅行分野版

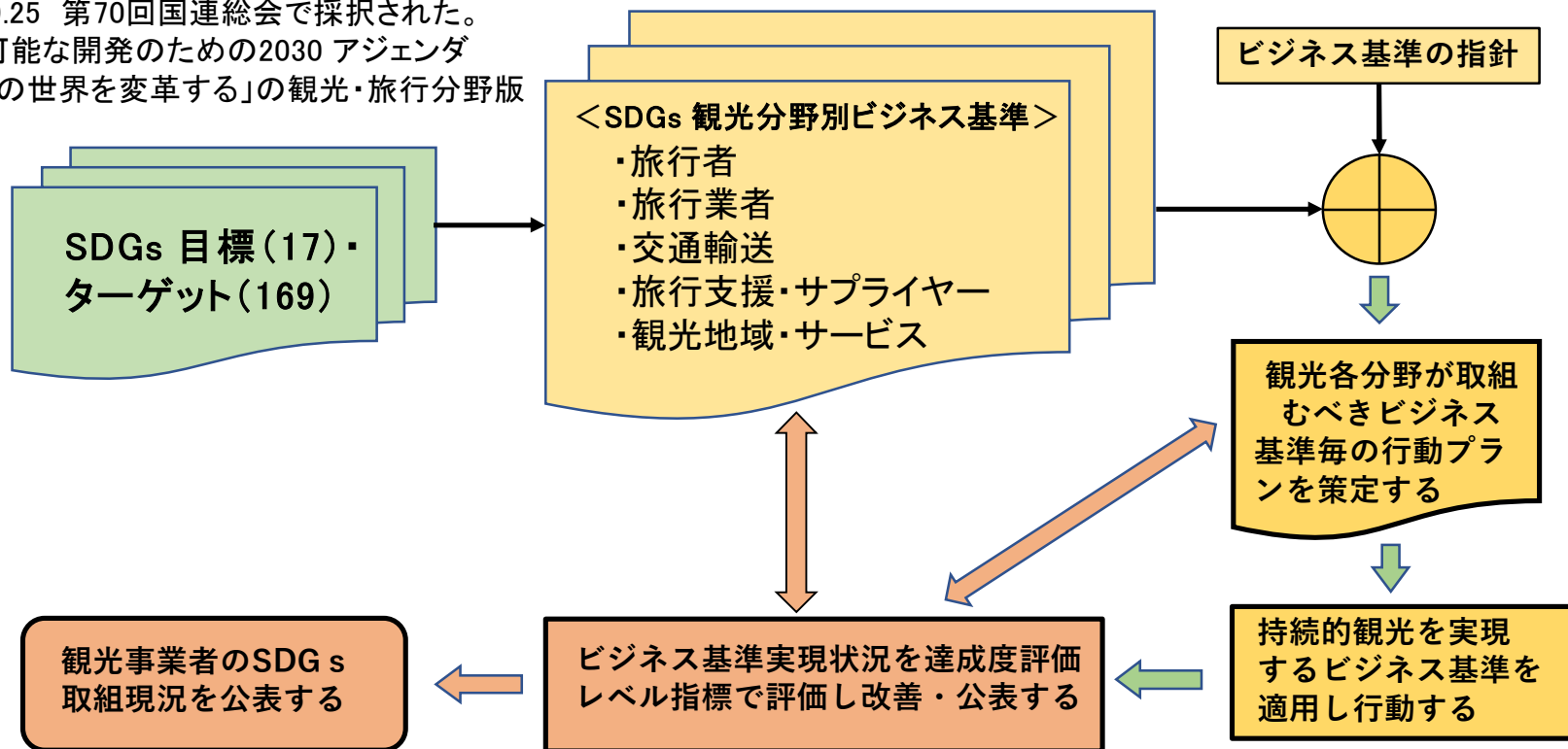


図-7 持続的観光のビジネス基準達成度評価の流れとSDGs達成度・改善、取組現況の公表

## 4-7(3). 持続的観光のビジネス基準達成度評価の概要について

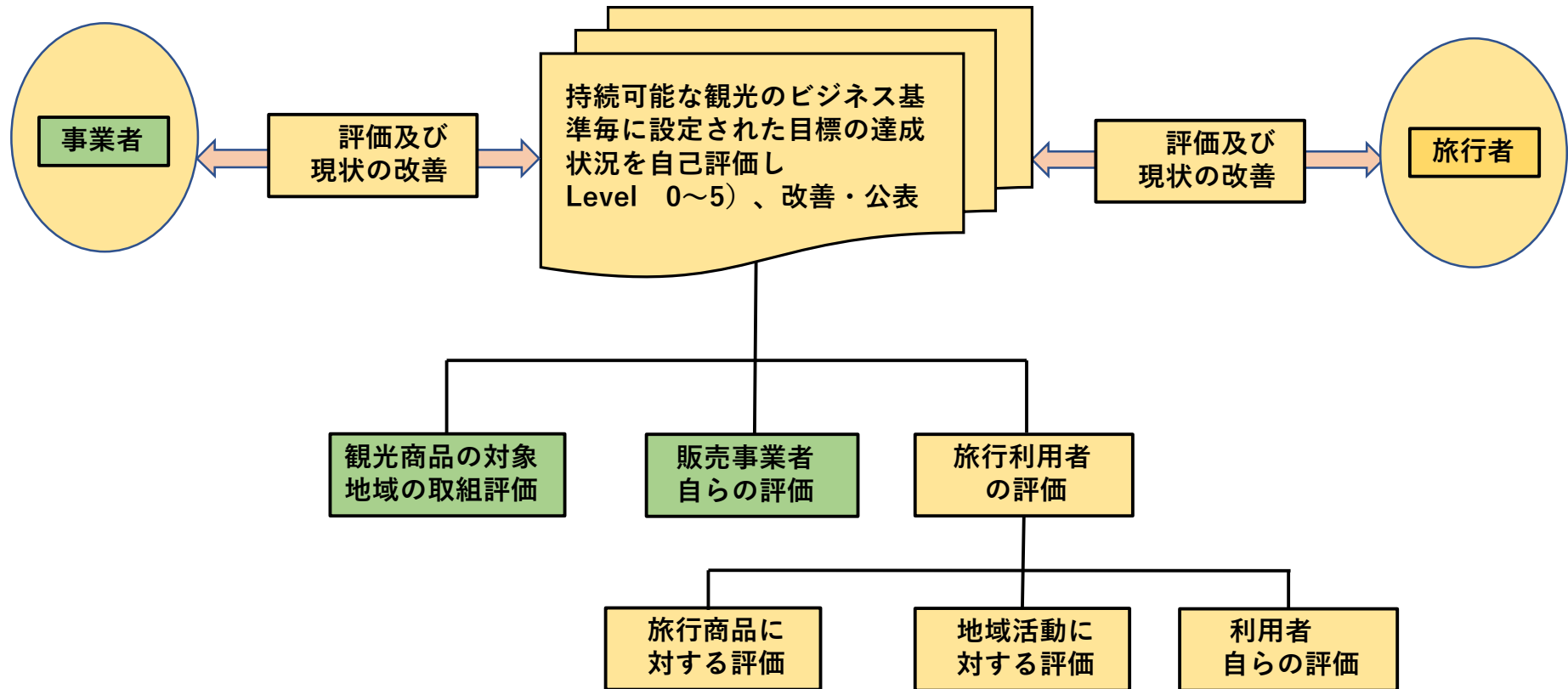


図-8 持続的観光のビジネス基準達成度レベル評価方法

## 4-7(4). 持続可能な観光のビジネス基準運用取組について

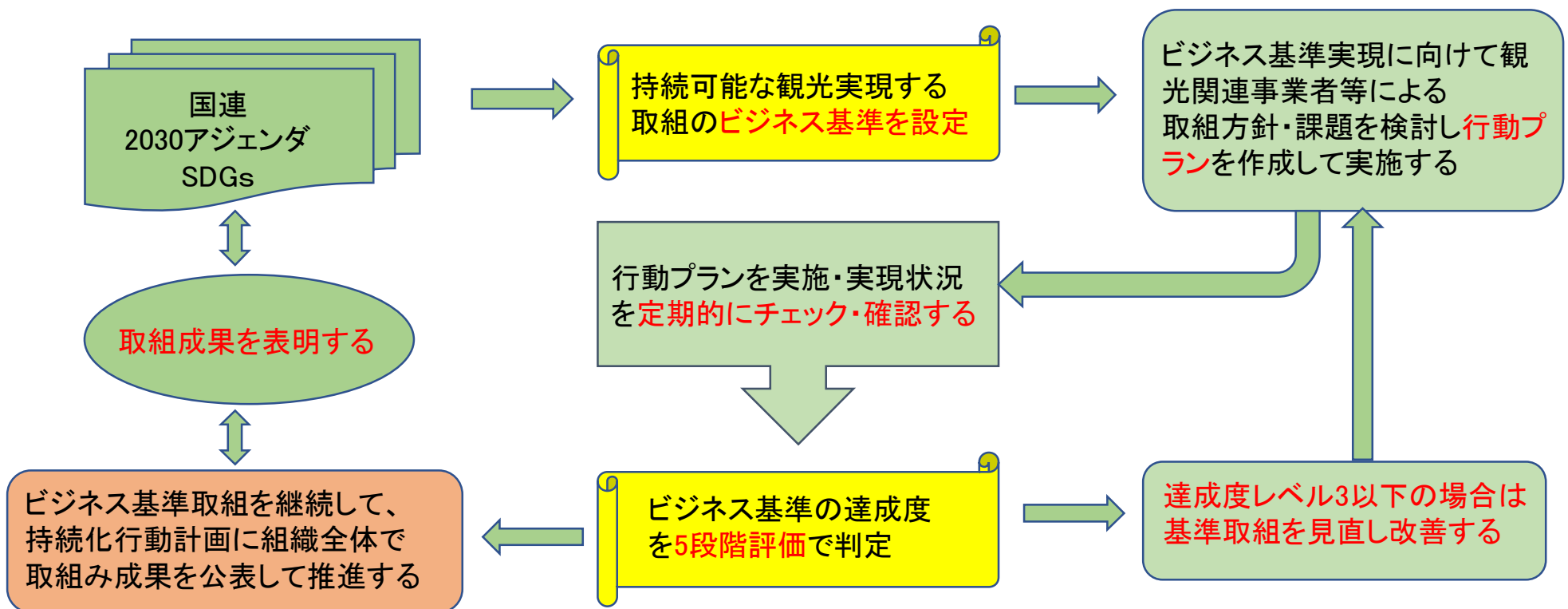


図-9 持続的観光のビジネス基準達成度レベル評価・取組の流れ

## 4-1. 持続可能な観光ビジネス基準取組はシステム基準指針を各観光事業者が具体的「行動プラン」を定めて実施する

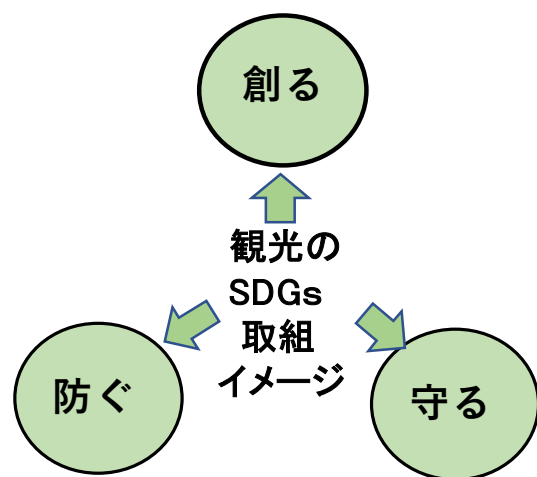
SDGsからの持続可能な観光ビジネス基準については、現実に世界の観光からも先進諸国とこれからの発展途上国のギャップ、観光分野等などの夫々の事情から一元化出来ないと考える。

この実態から観光のビジネス基準を観光・旅行の各分野において具体的に取組むためには、ビジネス基準を取組のガイドラインと定め、基本となる方向・方針であるビジネス基準の指針から具体的なST行動計画を各分野がその実情に合った行動すべきリスト(行動リスト)を策定・実践して観光・旅行分野の2030アジェンダに取組む。

### <参考> 日本の観光産業の関連項目

1. 観光資源の開発・整備・保護・地場の発展・住民QOL
2. 観光宿泊・施設利用・ホテル・旅館・モーテル・販売業
3. 観光の交通・航空・鉄道・バス・船舶等の交通業
4. 観光の斡旋・宣伝事業・旅行支援事業等
5. 観光資源(自然公園・森林・公園・水資源・動物保護)
6. 観光資源(文化財・博物館・文化施設)
7. 観光資源(温泉・スポーツ施設・レクレーション施設)
8. 観光資源(神社・仏閣・庭園)
9. 観光地文化(年中行事・民芸・郷土芸能)

## 4-2. 観光ビジネス基準「行動プラン作成」のビジネス基準の指針例示



区分	ビジネス基準の指針	ビジネス基準の指針補足（各観光事業者が定める）
A	持続可能な社会を創る	QOL・経済、ジェンダー平等、健康・福祉・教育
B	地球温暖化を防ぐ	気候変動対策・適応、産業・技術革新、省エネ
C	野生生物を守る	生物の多様性・保全
D	自然環境を守る	自然遺産、森林地、漁場、耕作地、環境汚染（水質・土壌汚染等）
E	海洋汚染を防ぐ	海洋ゴミ、水質汚染
F1	観光資源を守る -1	文化財、博物館、文化施設・神社、仏閣、庭園
F2	観光資源を守る -2	自然公園、森林、公園、水資源、文化施設
F3	観光資源を守る -3	年中行事、民芸、郷土芸能
G	旅行者を守る	① その土地の環境に配慮した旅行消費の利用 ② 自然環境への負荷軽減を意識した行動 ③ 地元製品の消費や購入 ④ ソーシャル・ディスタンスの実践と混雑の回避 ⑤ 訪問地の文化や慣習、マナーなどの尊重、ガイドの利用等による訪問地に関する深い知識の習得 ⑥ 旅行先でのポジティブな経験の発言

(参考) UNWTO: 責任のある旅行者になるためのヒント (Tips for a Responsible Traveler)



4-6 持続可能な観光ビジネス基準一覧表(案)観光分野(観光地域・サービス) Sheet No.-10

SDGs	「観光地域・サービス」のSDGs開発のビジネス基準	ビジネス基準の指針
15.6	観光地域の植物、動物、微生物、その他由来する遺伝資源への適切なアクセスを推進する	C:野生生物を守る D:自然環境を守る
15.7	保護の対象となっている動植物種の密猟及び違法取引を撲滅するとともに違法な野生生物製品の需要と供給の両面から保護に取り組む	C:野生生物を守る
15.8	観光地域周辺の外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を行い、さらに優先種の駆除または根絶を行う	C:野生生物を守る
15.9	生態系と生物多様性の価値を、GMOで計画策定と開発プロセスに組み込み併せて地域の貧困削減にも取り組み戦略的に対処する	C:野生生物を守る A:持続可能な社会を創る
15.a	生物多様性と生態系の保全と持続的な利用のために、あらゆる資金源からの資金調達を増額して取り組む	C:野生生物を守る A:持続可能な社会を創る

## 4-7(3). 持続的観光のビジネス基準達成度評価レベル一覧(1/4)

SDGs 目標・ターゲット ビジネス基準 の達成度評価レベル	「旅行者」の持続可能な観光ビジネス基準の評価結果						
	1.4	3.5	3.6	3.9	3.a	レベル毎の 評価数	改善対策
レベル0 ・未着手である	○					0	
レベル1 ・目標の理解と行動が不足			○			1	
レベル2 ・組織的ST取組が十分でない		○				2	
レベル3 ・取組成果が少し出ている				○		3	
レベル4 ・目標成果が着実に向上中					○	4	
レベル5 ・目標が最適に実施中である						0	
達成率で評価：各ターゲット数に対する各評価レベル値を加算して 全てが目標レベル5を達成とした場合との割合を達成率とする。				評価 (1/4)		10/25 : 40%	

# 氷川区民会館 会議室（会議室1号・2階）案内

住所:東 2-20-18 (郵便番号:150-0011)

電話:03-3409-1195

交通:都バス[都06][田87]系統「東二丁目」「渋谷車庫前」 5分

交通:[ハチ公バス 恵比寿・代官山循環 夕やけこやけルート](#)  
「11 渋谷車庫前」「12 東2丁目」 5分



[Google Mapで見る](#)